

## 令和7年度「学校教育における情報活用教育に関する連携協定」の成果報告

4年目を迎えた高森町・高森町教育委員会とKABによる取り組み。今年度は、初期段階から各学校における探究学習や様々な企画に関わることで、児童・生徒の「初動のサポート」を強化した一年となりました。

### 実施概要

KABは、高森町および高森町教育委員会との「学校教育における情報活用教育に関する連携協定」に基づき、令和7年度の取り組みを実施しました。

本年度は、児童・生徒の「思考の構築」に重点を置き、テレビ番組制作のノウハウを企画立案の初期プロセスに導入し、メディアリテラシーを基盤とした発信力の向上を図りました。

複数年にわたる本協定を通じ、高森町が掲げる「たかもり型・人材育成」のさらなる推進に努めています。



### 高森中央小学校：情報の取捨選択とメディアリテラシー



6年生の国語「デジタル機器と私たち」の授業では、個人情報保護の視点や、意見文作成のための正確な情報収集について、プロの知見を取り入れた指導を行いました。

また、5年生の「高森ふるさと学」では、企画の早期から助言する時間を設けることで、児童一人ひとりの疑問に寄り添い、視野を広げる手助けを行いました。情報の取捨選択における注意点などを繰り返し伝えることで、実生活に即した「生きたメディアリテラシー」の実践につなげることができています。

### 高森東学園：企画の推進力と深い思考の実現

「子ども議会」に向けた提案プロセスでは、生徒が企画立案した複数プランの課題や実現への障壁について、年度の早期から具体的なアドバイスをもってサポートすることで、リサーチ方法や情報収集の精度が向上し、企画立案のプロセスにおける推進力を高めることができました。生徒たちが抱える疑問点を複数回すり合わせることで、より深いレベルでの思考が促されました。



## 令和7年度「学校教育における情報活用教育に関する連携協定」の成果報告

## 高森中学校：継続的な指導による表現力の向上



高森中学校では、本年度も1・2年生を対象に、KABアナウンサーによる発声指導を実施しました。2年連続の受講となった2年生は、昨年度の基礎を土台にさらなる習熟をはかることで、目に見えて成長を感じさせる生徒も多く見受けられました。継続して取り組む体制が、個々の発信力向上に着実に寄与していることを改めて確認できる機会となっています。

## まとめ

本協定の4年目を終え、今後はより多角的な工夫を実践するための「計画的な余力の確保」が課題であると考えています。効果的なタイミングで外部リソースを活用できるよう、年間計画の策定段階から相互の調整を密にし、より早い段階から協働を開始できる体制を整えてまいります。令和8年度も、「たかもり型・人材育成」の質を高めるべく、本協定を軸とした教育環境の充実に努めてまいります。

## 令和7年度の対象校および実施実績

高森東学園Mブロック | 立案構成のヒント・サポート

高森東学園Lブロック | 高森子ども議会の立案に向けたサポート／文化祭への映像制作協力

高森中央小学校5年生 | ふるさと学における企画立案アドバイス

高森中央小学校6年生 | 意見文作成のプロセスにおけるアドバイス

高森中学校1・2年生 | アナウンサー講座

